平　成　30　年　度

事　業　報　告　書

一般財団法人 石川県予防医学協会

目　　次

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要
（第１章総則抜粋）

はじめに …… 1

1　平成30年度事業実施概要 …… 3

2　職域保健 …… 5
⑴　総合健康診断・定期健康診断 …… 5
⑵　がん検診 …… 6
⑶　特殊健康診断 …… 6
⑷　人間ドック …… 6
⑸　健康支援 …… 6
⑹　ストレスチェック …… 6

3　地域保健 …… 7
⑴　健康診査 …… 7
⑵　がん検診 …… 7

4　学校保健 …… 8
⑴　尿検査 …… 8
⑵　心臓検診 …… 10
⑶　貧血検査 …… 11
⑷　寄生虫検査 …… 11

5　医学検査 …… 12

6　環境検査 …… 13
⑴　食品検査 …… 14
⑵　水質検査 …… 15
⑶　簡易専用水道検査 …… 15
⑷　作業環境測定 …… 15
⑸　計量証明事業 …… 16

7　総務事項 …… 17
⑴　理事会開催状況 …… 17
⑵　評議員会開催状況 …… 17

8　啓発活動報告 …… 17

9　学会発表状況 …… 17

10　会議・研修実施状況 …… 18

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第１章総則抜粋）

≪名称≫

一般財団法人　石川県予防医学協会

≪設立≫

1952年（昭和27年）10月 8日

≪一般財団法人移行≫

2013年（平成25年） 4月 1日

≪住所≫

金沢市神野町東115番地

≪目的≫

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

≪事業≫

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

⑴　予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
⑵　公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
⑶　公衆衛生に関する調査研究事業
⑷　生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
⑸　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

平 成 30 年 度　　事 業 報 告 書

一般財団法人 石川県予防医学協会
理事長　松崎　充意

≪はじめに≫

この5月に令和という新しい時代を迎えることができました。ある識者の方はこの「令和」を「令(うるわ)しく平和を築いていこうという合言葉だ」と述べておられました。混沌としている世の中がより平和となるよう皆で願い、そして行動をして行かねばならない時代だともいえます。当協会としてもその一助となるよう一層の努力をしていきたいと存じます。

さて、平成30年度は協会として「働き方改革」と「健康経営」の考え方を本格的に取り入れた事業展開の大きな一歩を踏み出した年といえます。31年2月には、健康経営優良法人2019大規模法人部門（通称ホワイト500）の認証も2年連続で取得することができ、働きやすい職場づくりの実践という点でも取り組むことができました。具体的には、お客様のニーズを第一に考えることはもちろん、その中で業務の効率化・合理化を各部門それぞれが創意工夫し、生産性を高め、時間外労働も削減できたことは大きな成果の一つだと認識しております。また、納期短縮、正確性と生産性・効率化を目的に構築をしております「健診基幹システム」も来年4月稼働に向け、順調に開発を進めることができました。

そして、対外的には石川県庁の企業対抗型健康づくり事業の実施機関に選ばれ、県内各企業の皆さまに対して「健康経営」推進に貢献できたことは担当部門の自信にもなりましたし、令和元年の更なる活動に向け、知識と経験を得ることができたと思います。

なお、今年3月末日を持ちまして、昭和54年3月以来40年に渡り展開してまいりました水質検査、計量証明事業の水質関連項目を終了いたしました。これは健康診断事業、食品検査及び作業環境測定事業の更なる発展・拡充を目指すためであります。今までご利用いただきましたお客様に心から御礼を申し上げます。

これからも企業の皆さまの「より活き活きとした職場づくり」に貢献させていただくために、そして、県民の皆さまに「健康・安全・安心」をお届けするために、役職員全員で力を合わせ、予防医学事業に邁進していきたいと存じます。

以下、平成30年度展開しました事業を概括いたします。

＜基本理念＞
「すべては　お客様のために　社会貢献のために　職員と家族のために」

＜行動指針＞
1.　思いやりの心
　・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。
1.　チャレンジ精神
　・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。
1.　精度管理の徹底
　・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。
1.　コンプライアンス（法令・規則の遵守）

・関係法令、自主規準を必ず遵守します。

1. 継続的改善

・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

1. 人材育成

・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくります。

＜平成 30 年度スローガン＞

『飛躍　～　一歩ずつ着実に　前へ　未来へ　～』

＜事業報告概要＞

＜事業部門＞

1. 健康診断部門における血液検査、心電図検査を含む全項目の受診促進及び受診率 100%の推進については、総合健康診断では 3,928 名、定期健康診断の全項目では 25,890 名の受診者数増加を達成しました。また、職域保健における各種がん検診、生活習慣病検査についても堅調に受診者数の増加を実現することができました。
2. 「健康経営」の推進については、石川県庁様の企業対抗型健康づくり事業のプロポーザルに参加し、当協会の「ワクワク健康カップ」の企画が採用され、32 社 293 名の方が参加されました。運動（歩数）、食（バランスの良い食事の摂取）、健康クイズの取り組みにより、参加された企業の皆さまの「健康経営」に寄与しました。
3. 臨床検査部門では、全血液検体バーコードの導入、グルコース分析装置の更新、遺伝子検査室及び一般検査室の改装をはじめとした検査体制の強化を図り、検査精度の維持・向上及び業務の効率化に取り組みました。
4. 環境検査部門では、厚生労働省登録水質検査機関として、昭和 54 年 3 月以来 40 年に渡り展開してまいりました水質検査、計量証明事業の水質関連項目につきまして、健康診断、食品検査、作業環境測定等の実施体制強化を目的として、平成 31 年 3 月 31 日をもって事業を終了いたしました。今後は、これまで以上に食品検査、簡易専用水道検査、作業環境測定、計量証明事業（ばい煙測定等）の環境検査事業に邁進してまいります。
5. 環境検査部門では、HACCP に関するコンサルタント事業の契約が堅調に増加し、講習会やセミナー講師についても多くの依頼をいただき、食品等事業者様をはじめ石川県民の皆さまの「安全・安心」に貢献しました。

＜管理部門＞

1. 働き方改革については、平成 31 年 2 月 21 日に 2 年連続で「健康経営優良法人 2019 大規模法人部門（ホワイト 500）」の認定を取得し、業務の効率化やフレックスタイム制の積極的な導入を通じて、引き続き「楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり」に取り組みました。
2. 予防医学事業の専門機関として、年間を通して外部講師による「中堅リーダーパワーアップ研修」や「次世代リーダー育成研修」を行い、果敢に挑戦する人材育成に努めました。
3. 新健康診断基幹システム構築については、正確性の向上、納期短縮、業務の効率化、合理化を目的として、令和 2 年 4 月の第一次稼働を目指して計画を進捗させている中、要件定義及び契約締結を完了し、開発を進めています。

1　平成30年度事業実施概要

平成30年度各事業は表1のとおりとなっております。

職域保健について、総合健康診断、定期健康診断、がん検診ともに受診者数が増加しました。また、人間ドックについても引き続き高い稼動率となり、堅調に増加しました。

地域保健について、健康診査、がん検診は全体的には減少しました。

学校保健については、少子化等により、全体的に減少しました。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、食品検査、作業環境測定が増加しました。

表1　健 診 ・ 検 査 実 施 状 況

（その１）

△印は減少

No	健診・検査の種類		平成 30 年度 受診者数・件数	平成 29 年度 受診者数・件数	増減	増減率
1	①　健康診断部門／職域保健					
2	総合健康診断		37,832	33,904	3,928	11.6%
3	定期健康診断	全項目	127,379	101,489	25,890	25.5%
4		省略項目	31,868	58,878	△ 27,010	-45.9%
5		小計	159,247	160,367	△ 1,120	-0.7%
6	胃がん検診		34,057	35,508	△ 1,451	-4.1%
7	大腸がん検診		48,905	46,575	2,330	5.0%
8	乳がん検診		10,386	10,158	228	2.2%
9	子宮がん検診		8,990	8,223	767	9.3%
10	生活習慣病検査		30,241	27,982	2,259	8.1%
11	感染症検査・予防接種		40,247	41,526	△ 1,279	-3.1%
12	精密検査		17,246	16,588	658	4.0%
13	特殊健康診断	有機溶剤	10,549	9,794	755	7.7%
14		じん肺	2,973	2,594	379	14.6%
15		特定化学物質	7,393	7,206	187	2.6%
16		VDT	2,071	1,688	383	22.7%
17		その他	11,063	9,912	1,151	11.6%
18		小計	34,049	31,194	2,855	9.2%
19	人間ドック		7,864	7,859	5	0.1%
20	健康支援		3,252	3,355	△ 103	-3.1%
21	ストレスチェック		66,542	64,027	2,515	3.9%
22	腸内細菌検査		120,854	118,136	2,718	2.3%

（その２）

△印は減少

No	健診・検査の種類		平成 30 年度 受診者数・件数	平成 29 年度 受診者数・件数	増減	増減率
23	②健康診断部門／地域保健					
24	健康診査		18,536	18,947	△ 411	-2.2%
25	肺がん・結核検診	X 線検査	26,939	28,066	△ 1,127	-4.0%
26		CT 検査	830	592	238	40.2%
27		小計	27,769	28,658	△ 889	-3.1%
28	胃がん検診		7,613	8,395	△ 782	-9.3%
29	大腸がん検診		18,002	18,533	△ 531	-2.9%
30	乳がん検診		3,351	3,292	59	1.8%
31	子宮がん検診		2,720	2,735	△ 15	-0.5%
32	前立腺がん検診		4,419	4,470	△ 51	-1.1%
33	健康支援・骨密度測定		2,189	2,128	61	2.9%
34	③健康診断部門／学校保健					
35	尿検査		155,272	159,385	△ 4,113	-2.6%
36	寄生虫検査	回虫・鉤虫等	0	0	0	
37		ぎょう虫	25,651	32,945	△ 7,294	-22.1%
38		小計	25,651	32,945	△ 7,294	-22.1%
39	学校心電図検査		12,284	12,866	△ 582	-4.5%
40	学校健康診断		24,534	23,508	1,026	4.4%
41	感染症検査・予防接種		10,388	10,315	73	0.7%
42	④クリニック部門					
43	保険診療	件数	6,909	6,906	3	0.0%
44		点数	9,624,194	9,865,380	△ 241,186	-2.4%
45	⑤臨床検査部門					
46	臨床検査		19,386	20,099	△ 713	-3.5%
48	⑥環境検査部門					
49	食品検査		16,277	15,114	1,163	7.7%
50	水質検査		5,743	5,884	△ 141	-2.4%
51	簡易専用水道検査		883	888	△ 5	-0.6%
52	作業環境測定		2,515	2,375	140	5.9%
53	計量証明事業検査	水質	1,482	1,485	△ 3	-0.2%
54		水質以外	136	134	2	1.5%

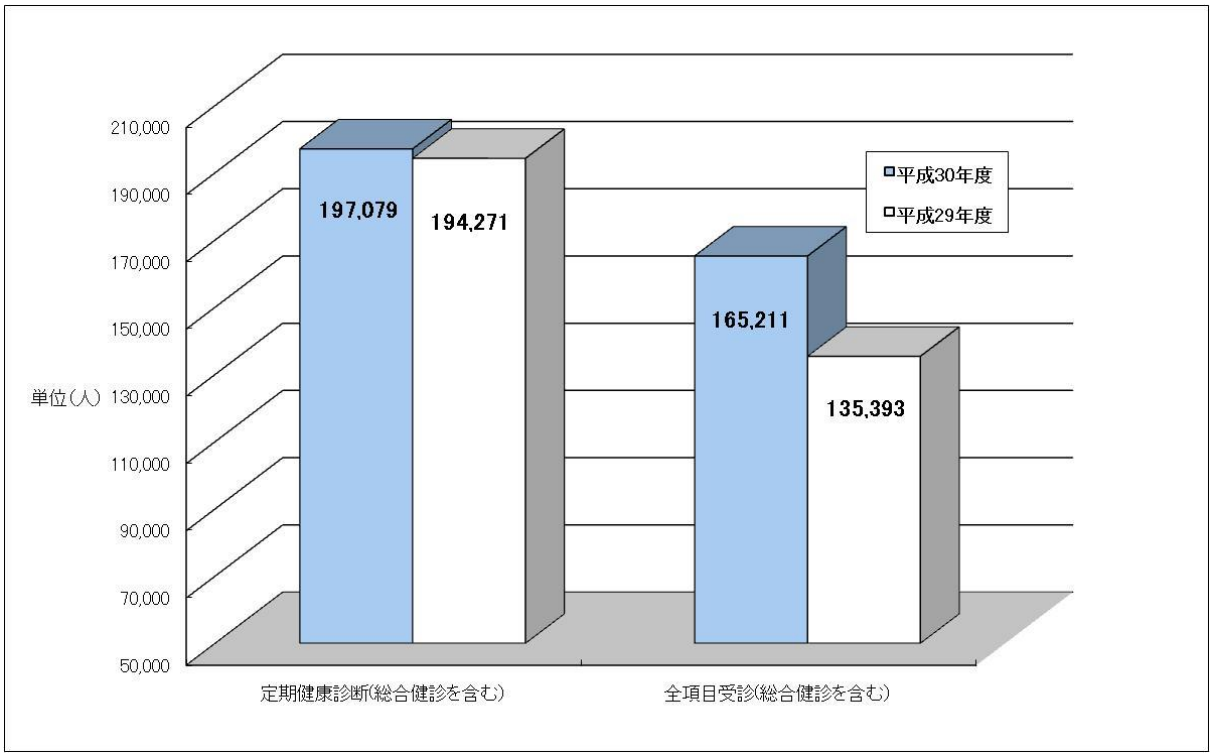
２　職域保健

平成30年度は、定期健康診断や特定健診にがん検診等を組み合わせた総合健康診断の提案を継続した渉外活動を展開し、健康診断及びがん検診の受診者は増加しました。

具体的には、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診を中心とした総合健康診断、定期健康診断全項目の受診者数は増加しました。

人間ドックについては、新コースの運用が定着し、着実に受診者数が増加しました。また、実質3年目となったストレスチェックは増加しました。

図１　定 期 健 康 診 断 実 施 状 況



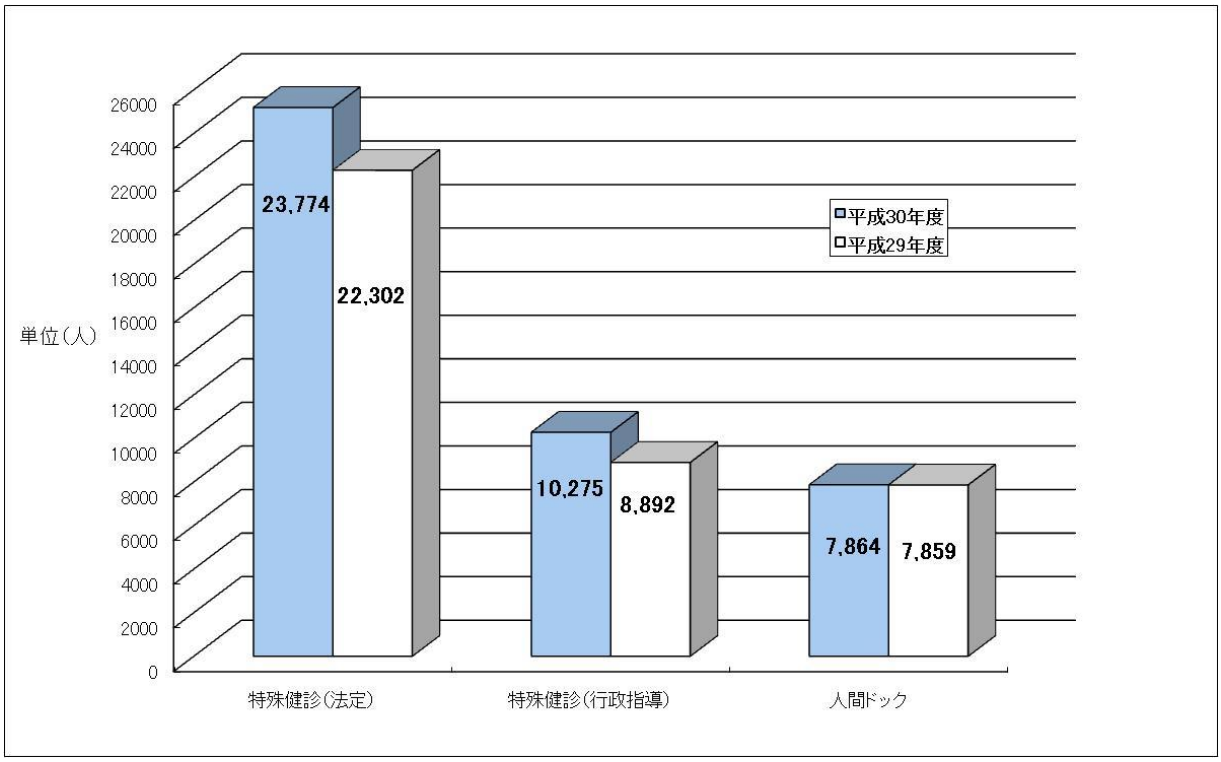
⑴ 総合健康診断、定期健康診断

実施状況は、図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、2,808人増の197,079人、心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は29,818人増の165,211人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう、出張・外来健診の両方で利用促進に努めました。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただいております。総合健康診断は3,928人増の37,832人でした。定期健康診断における心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は25,890人増の127,379名でした。

図２　特 殊 健 康 診 断 等 実 施 状 況



⑵ がん検診

がん検診については胃がん検診を除く項目は受診者数が増加し、大腸がん検診が2,330人増の48,905人、乳がん検診が228人増の10,386人、子宮がん検診が767人増の8,990人でした。

⑶ 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では2,855人増の34,049人が受診され、有機溶剤は10,549人、じん肺健診は2,973人、特定化学物質等の法定特殊健診は7,393人、VDT健診等の行政指導特殊健診は2,071人でした。

⑷ 人間ドック

人間ドックについては、平成29年4月からの新コースの開始及び土曜日の運用変更による定員拡充が定着したことにより、5人増の7,864人でした。

⑸ 健康支援

健康支援事業では、全体的には 103 人減の 3,252 人でしたが、特定保健指導は 119 人増の 1,145 人でした。

⑹ ストレスチェック

労働安全衛生法改正に基づき、平成27年12月1日に施行されたストレスチェックについて、受検者数は2,515人増の66,542名でした。

３　地域保健

市町との連携をより強化し、受診案内等の事前周知及び包括健診の実施を提案したことにより、受診率の向上に取り組みましたが、平成30年度は全体的に受診者数が減少しました。

受診会場においては、各市町の要望を盛り込み、特定健康診査対象外年齢の方の基本健康診査、集合契約での被扶養者の特定健康診査、各がん検診を同時に受診できる環境作り及び円滑な受診体制への提案を積極的に行いました。

実施状況は、表2のとおりです。

⑴ 健康診査

定期日程終了後に市町と調整し、追加日程の調整等に取り組みましたが、健康診査の総受診者数は411人減の18,536人でした。

⑵ がん検診

肺がん・結核検診は889人減の27,769人、胃がん検診は782人減の7,613人、子宮がん検診は15人減の2,720人、乳がん検診は59人増の3,351人、大腸がん検診は531人減の18,002人、前立腺がん検診は51人減の4,419人、健康支援・骨密度測定は61人増の2,189人でした。

表２　地域保健市町別実施状況

市町村	基本					胸部Ｘ線		喀痰	胃部	大腸	子宮	乳房	前立腺	マルチCT	甲状腺	骨密度
	若年	特定	後期高齢	その他	国保外	39歳以下	40歳以上									
金沢市		589	86				520	19	611	478		295	123	71		128
小松市	237	488	20	1	159		9,292	143	2,984	8,034	50	39	175	166		
七尾市	69	2,168	580	4	312								1,393			
能美市	433	2,133		2	428		3,817	68	1,711	3,820			861	499		280
川北町	75	255			62		430	8	129	305	※2 163	233	177	94		372
野々市市	232	333	3		8		1,752	14								
白山市	315	2,369	361	7	329								416			
内灘町	269	1,098		8	359		1,509	33	852	1,289	877	1,105	431			838
津幡町	331	1,011	314	1	375		1,747	4	858	1,527	767	759	65			123
志賀町	18	1,223	483	3	142		2,206	98					102			
中能登町	35	974	348	8	191		1,834	25		1,183			357			193
穴水町									5							
輪島市						1	2,063	21			34	37				
かほく市	308	1,337		7	269		1,769	9	※1 463	1,366	※3 829	883	319			255
合　計	2,322	13,978	2,109	41	2,634	1	26,939	442	7,613	18,002	2,720	3,351	4,419	830		2,189

※1　かほく市　：　胃ＡＢＣ検診
※2　川北町　：　子宮163名　内12名ＨＰＶ検査実施
※3　かほく市　：　子宮829名　内82名ＨＰＶ検査実施

４　学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音図心電図検査）、腎臓病・糖尿病検診（尿検査）、貧血検査、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しております。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・貧血症・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいております。

平成30度も引き続き更なる精度管理の徹底、正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、より効果的な検診・検査体制の構築に努め、学校保健部会では、県教育委員会・学校保健部会の先生方からの助言をいただき、精密検査未受診者への案内を強化し、精密検査の受診率向上に努めました。

(1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。30年度の受診者数は、4,113名減の155,272名でした。

実施状況は、表3、4のとおりです。

表３　尿検査（腎臓病検診）実施状況

（１次検査）

学校区分	受検者数			陽性者数			陽性割合（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未就学	22,682	11,522	11,160	621	201	420	2.74%	1.74%	3.76%
小学校	61,156	31,019	30,137	1,699	513	1,186	2.78%	1.65%	3.94%
中学校	30,964	15,831	15,133	1,795	799	996	5.80%	5.05%	6.58%
高等学校	29,013	14,798	14,215	1,557	667	890	5.37%	4.51%	6.26%
その他	2,618	1,814	804	152	82	70	5.81%	4.52%	8.71%
合計	146,433	74,984	71,449	5,824	2,262	3,562	3.98%	3.02%	4.99%

（２次検査）

学校区分	受検者数			陽性者数			陽性割合（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未就学	569	188	381	132	40	92	23.20%	21.28%	24.15%
小学校	1,638	489	1,149	298	82	216	18.19%	16.77%	18.80%
中学校	1,685	763	922	310	105	205	18.40%	13.76%	22.23%
高等学校	1,456	642	814	198	82	116	13.60%	12.77%	14.25%
その他	125	72	53	36	16	20	28.80%	22.22%	37.74%
合計	5,473	2,154	3,319	974	325	649	17.80%	15.09%	19.55%

表４　尿検査（糖尿病検診）実施状況

（１次検査）

学校区分	受検者数			陽性者数			陽性割合（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未就学	22,682	11,522	11,160	5	3	2	0.02%	0.03%	0.02%
小学校	61,156	31,019	30,137	9	5	4	0.01%	0.02%	0.01%
中学校	30,964	15,831	15,133	20	8	12	0.06%	0.05%	0.08%
高等学校	29,013	14,798	14,215	44	22	22	0.15%	0.15%	0.15%
その他	2,618	1,814	804	8	7	1	0.31%	0.39%	0.12%
合計	146,433	74,984	71,449	86	45	41	0.06%	0.06%	0.06%

（２次検査）

学校区分	受検者数			陽性者数			陽性割合（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未就学	4	2	2	1	1	0	25.00%	50.00%	0.00%
小学校	7	4	3	3	2	1	42.86%	50.00%	33.33%
中学校	14	7	7	6	2	4	42.86%	28.57%	57.14%
高等学校	34	18	16	14	8	6	41.18%	44.44%	37.50%
その他	6	6	0	1	1	0	16.67%	16.67%	0.00%
合計	65	37	28	25	14	11	38.46%	37.84%	39.29%

⑵ 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しております。

実施状況は、表5のとおりです。

表５　学 校 心 臓 検 診 実 施 状 況

学校区分		心音心電図受検者数	心電図検査受検者数	合　計	精検検査対象者数	要精検率	要管理者数	要管理者割　合
小　学　校	全　体	0	970	970	26	2.68%	20	2.06%
	１年生	0	706	706	20	2.83%	15	2.12%
	４年生	0	260	260	6	2.31%	5	1.92%
	その他	0	4	4	0	0.00%	0	0.00%
中　学　校	全　体	0	917	917	18	1.96%	10	1.09%
	１年生	0	916	916	18	1.97%	10	1.09%
	その他	0	1	1	0	0.00%	0	0.00%
高等学校	全　体	0	10,066	10,066	285	2.83%	94	0.93%
	１年生	0	10,043	10,043	279	2.78%	91	0.91%
	その他	0	23	23	6	26.09%	3	13.04%
その他の学校		0	331	331	9	2.72%	34	10.27%
合　計		0	12,284	12,284	338	2.75%	158	1.29%

⑶ 貧血検査

食生活のアンバランスが原因となる鉄欠乏性貧血やその予備群の早期発見と正しい食生活指導のために、耳朶採血法・静脈採血法で貧血検査を実施しております。

重要な検査である貧血検査については、学校保健安全法に定められていないこと及び検査が侵襲的方法であるため実施学校数が少ない現状です。

⑷ 寄生虫検査

平成 28 年度から学校保健安全法が改正され、ぎょう虫検査につきましては、任意項目となりました。

平成 30 年度の実施件数は、7,294 減の 25,651 件でした。

実施状況は表 6 のとおりです。

表６　寄 生 虫 検 査 実 施 状 況

学校区分	ぎょう虫検査(全体)			2　日　法			4　日　法		
	受検者数	保卵者数	保卵率	受検者数	保卵者数	保卵率	受検者数	保卵者数	保卵率
未　就　学	25,077	18	0.07%	8,254	0	0.00%	16,823	18	0.11%
小　学　校	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
中　学　校	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
高等学校	0	0	0.00%	0	0	0.00%	0	0	0.00%
そ　の　他	216	1	0.46%	216	1	0.46%	0	0	0.00%
合　　計	25,293	19	0.08%	8,470	1	0.01%	16,823	18	0.11%
後検査合計	22	4	18.18%	1	0	0.00%	21	4	19.05%

学校区分	寄生虫検査(全体)		
	受検者数	保卵者数	保卵率
未　就　学	0	0	0.00%
小　学　校	0	0	0.00%
養護学校	0	0	0.00%
合　　計	0	0	0.00%

５　医学検査

平成30年度も健診、ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持向上を基本とし、お客様が満足できるサービスの提供に貢献する検査体制の構築に取り組んでまいりました。

臨床検査部では、グルコース分析装置の更新、全血液検体バーコードの導入、遺伝子検査室・一般検査室の改装に取り組みました。平成30年度臨床検査部で実施した検査は、表7に示したように、合計で3,598,400件でした。

病理学的検査は減少しましたが、血液・血清・臨床化学的検査は大きく増加、一般臨床・微生物・大腸がん(便潜血反応)検査も増加しました。検査の外部委託件数は14,520件、主に尿中代謝物検査でした。

一般臨床検査のうち、学校尿検査151,970件、ぎょう虫卵検査25,208件(前年度比77.9%)を実施しました。大腸がんは対前年度1,783件増の73,361件を実施しました。また、ノロウイルス検査は、対前年度133件増の672件を実施しました。

表７　検　査　実　施　状　況

△印は減少

検　査　別	30 年度	29 年度	対前年度比増減件数
	件　数	件　数	
一般臨床検査	195,536	189,758	5,778
血液学的検査	610,944	359,462	251,482
微生物学的検査	224,052	216,855	7,197
血清学的検査	125,944	91,700	34,244
臨床化学的検査	2,340,181	2,090,846	249,335
大腸がん検査	73,361	71,578	1,783
病理学的検査	13,862	14,192	△ 330
その他の検査	14,520	14,003	517
合　　計	3,598,400	3,048,394	550,006

表８　石川県成人病予防センター検査実施状況

△印は減少

検　査　別	30 年度	29 年度	対前年度比増減件数
	件　数	件　数	
一般臨床検査	15	13	2
血液学的検査	17,459	17,245	214
血清学的検査	1,404	1,430	△26
臨床化学的検査	16,698	17,629	△931

表９　検　査　実　施　状　況

△印は減少

検　査　別	30 年度	29 年度	対前年度比増減件数
	件　数	件　数	
SS	114,369	112,061	2,308
EHEC	107,371	102,602	4,769
0157	1,532	1,568	△36
腸内細菌検査　計	223,272	216,231	7,041
ﾉﾛｳｲﾙｽｰﾘｱﾙﾀｲﾑ PCR 法	672	539	133

６　環境検査

環境検査部門では、精度の維持向上、検査と事務の効率化、お客様に有用な検査の立ち上げ等を進めました。

HACCP 導入に関するコンサルタント事業は、24 社と契約し、食品製造業の総合的な衛生管理向上を支援しています。HACCP の普及推進を目的とした HACCP 講習会の講師を 12 回担当し、石川県の食品等事業者様に理解を深めていただきました。

昨年度に引き続き、石川県食品衛生協会様が主催する一般飲食店様向け「ステップアップ衛生管理セミナー」において 3 回、食品衛生指導員研修会において 3 回の講師を担当しました。

本年度は、新たに石川県食品協会様主催の「HACCP 制度化基礎セミナー」や北國銀行様、商工会議所様主催の講習会において、計 6 回の講師を担当しました。

今年度の環境検査事業実施状況につきましては、表 10 のとおりです。

なお、厚生労働省登録水質検査機関として、昭和 54 年 3 月以来 40 年に渡り展開してまいりました水質検査、計量証明事業の水質関連項目につきまして、環境検査事業の実施体制強化を目的として、平成 31 年 3 月 31 日をもって事業を終了いたしました。今後は、これまで以上に食品検査、簡易専用水道検査、作業環境測定、計量証明事業（ばい煙測定等）を通じてお客様に貢献してまいります。

表１０　環 境 検 査 事 業 実 施 状 況

△印は減少

検　査　内　訳	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比増減件数
食　品　検　査	16,277	15,114	1,163
水　質　検　査	5,743	5,884	△141
簡 易 専 用 水 道	883	888	△5
作 業 環 境 測 定	2,515	2,375	140
計 量 証 明 事 業	1,618	1,619	△1
合　　計	27,036	25,880	1,156

⑴ 食品検査

全体の検査件数は1,163件増の16,277件でした。

検査体制では、標準作業書（SOP）の改訂、信頼性確保部門が計画する外部精度管理の参加及び結果の検証、食品衛生登録検査機関協会主催の研修会への参加及び信頼性確保部門による内部点検等により、精度管理の徹底に取り組みました。また、ISO17025の認定を取得している微生物検査においては、良好な検査精度を維持しました。

衛生検査につきましては、食品衛生法の一部改正が6月に公布されたこともあり、2年目を迎えたHACCP 導入支援事業が前年度からの継続支援も含めて24社（前年度比240%）に増加しました。また、行政関連機関や金融機関と連携し、HACCP普及推進に関する講習会を12回開催することができました。

食品検査実施状況は表11のとおりです。

表１１　食品検査（項目別）実施状況

△印は減少

項目分類	平成30年度	平成29年度	対前年度比 増減件数
細菌検査	8,608	7,862	746
衛生検査	4,714	4,460	254
一般理化学検査	1,194	1,051	143
添加物検査	4	7	△3
有害物質検査	284	255	29
規格検査	825	837	△12
異物検査	203	206	△3
輸入食品検査	61	44	17
放射性物質検査	266	224	42
その他検査	94	161	△67
HACCP導入支援業務	24	7	17
合計	16,277	15,114	1,163

⑵　水質検査

全体の検査件数は 141 件減 5,743 件でした。検査体制では、検査員の担当項目変更や複数化により、検査の効率化が図れました。

厚生労働省主催の外部精度管理調査、全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査への参加及び研修会への参加により精度向上、情報の収集に努めました。

水質検査実施状況は表 12 のとおりです。

表１２　　水 質 検 査 実 施 状 況

△印は減少

種別		市 町 名	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比 増減件数
水道水	20条関係	白 山 市	762	787	△25
		加 賀 市	192	102	90
		宝達志水町	105	110	△5
		七 尾 市	407	422	△15
		中能登町	0	103	△103
		穴 水 町	55	53	2
		小 計	1,521	1,577	△56
	その他の水道水		2,166	2,128	38
井戸水	一 般 飲 料 水		259	267	△8
	食 品 営 業 用 水		303	260	43
浴槽･プール水等			1,494	1,652	△158
合　　計			5,743	5,884	△141

⑶　簡易専用水道検査

全体の検査件数は 5 件減の 883 件（現場検査：741 件、書類検査：142 件）でした。新規顧客、従来顧客の新規物件により 18 件の増加がありましたが、老朽化施設の廃止・改築などによる検査の見合せにより 23 件の減少がありました。

全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査では最上位の”S”ランクをいただきました。精度管理について、全国給水衛生検査協会主催の研修会への積極的参加、信頼性確保部門による内部監査の継続実施により精度の向上に努めました。

⑷　作業環境測定

検査件数については、延事業場数及び延作業場数が増加し、作業場数では前年比 140 件増加の 2,515 件でした。監督官庁の行政指導が引き続き強化されたこと及び事業者様の新工場設立等により、有機溶剤、特定化学物質など全体的に増加しました。

また、化学物質におけるリスクアセスメントが十分に浸透しており、事業者様が事業場の労働環境及び労働者様の健康に今まで以上に関心を持ち、相談件数が増加しました。『作業環境測定士からのアドバイス』を報告書に添付した結果、とても評判が良く、施設の不具合、労働者様の行動、有

害物の発散の気付き等多くの改善につながりました。

分析においては、有機溶剤分析を GS/MS 法に、弗化水素をイオンクロマト法にそれぞれ移行し、大幅な効率化が図れました。

日本作業環境測定協会主催の研修会への参加により精度向上、情報の収集に努めました。

作業環境測定の実施状況は表 13 のとおりです。

表１３　労働安全衛生法第65条に基づく定期作業環境測定実施状況

測定対象事業場		事業所数	延作業場数	延単位作業場の管理区分		
				第一管理区分	第二管理区分	第三管理区分
鉱物性粉じん	石綿	0	0	0	0	0
	石綿以外	60	329	250	27	52
特定化学物質		157	682	620	38	24
金属類	鉛	2	2	2	0	0
	鉛以外	17	101	97	4	0
有機溶剤		185	724	592	92	40

⑸ 計量証明事業

全体の検査件数は 1 件減の 1,618 件でした。検査分類別にみると、大気測定は、ボイラーの重油燃焼から電気式への切替え等により微減でした。水質検査については、自社管理として排水件数が増加しました。

検査体制では、検査員の担当項目変更や複数化により、検査の効率化が図れました。環境省主催の外部精度管理調査、愛知県環境測定分析協会主催の共同実験(クロスチェック)に参加し、精度向上に努めました。

計量証明事業の実施状況は表 14 のとおりです。

表１４　計量証明事業実施状況

△印は減少

検査分類	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比 増減件数
大気測定	136	134	2
水質検査	1,464	1,438	26
土壌検査	0	0	0
その他(計量対象外)	18	47	△29
合計	1,618	1,619	△1

7　総務事項

(1)理事会開催状況

平成30年6月期定例理事会

平成30年6月1日(金)

第1号議案　平成29年度事業報告(案)について
第2号議案　平成29年度決算(案)について
第3号議案　平成29年度公益目的支出計画実施報告(案)について
第4号議案　新館建築計画(案)について
第1～4号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

平成31年3月期定例理事会

平成31年3月11日(月)

第1号議案　健康診断、食品検査、作業環境測定等事業の実施体制強化を目的とした環境検査事業の見直しについて
第2号議案　平成31年度事業計画(案)について
第3号議案　平成31年度収支予算(案)について
第4号議案　新館建築計画(案)について
第1～4号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

(2)評議員会開催状況

平成30年6月期定例評議員会

平成30年6月15日(金)

第1号議案　一部理事の退任及び選任(案)について
第2号議案　平成29年度事業報告(案)について
第3号議案　平成29年度決算(案)について
第4号議案　平成29年度公益目的支出計画実施報告(案)について
第5号議案　新館建築計画(案)について
第1～5号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

平成31年3月期定例評議員会

平成31年3月27日(水)

第1号議案　健康診断、食品検査、作業環境測定等事業の実施体制強化を目的とした環境検査事業の見直しについて
第2号議案　平成31年度事業計画(案)について
第3号議案　平成31年度収支予算(案)について
第4号議案　新館建築計画(案)について
第1～4号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

8　啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん「かなざわピンクリボンプロジェクト」に参画し、がん早期発見のための啓発活動を行いました。

◇かなざわピンクリボンプロジェクト

開催日：平成30年9月23日(日)
会　場：しいのき迎賓館
内　容：活動では、メッセージウォーク、メッセージイベント等の取り組みに参画し、乳がん検診の啓発に協力しました。

9　学会発表状況

第65回日本栄養改善学会学術総会

日　時：平成30年9月4日(火)～5日(水)
会　場：新潟市
内　容：特定保健指導3か月支援による効果とその効果要因についての検討
発表者：山﨑　千晶

第28回日本産業衛生学会　産業医・産業看護全国協議会

日　時：平成30年9月14日(金)～16日(日)
会　場：東京

内　容：データヘルス計画に基づいた委託保健事業取り組みの効果について
発表者：馬場　菜穂子

第 47 回日本総合健診医学会
日　時：平成 31 年 2 月 1 日(金)～2 日(土)
会　場：横浜市
内　容：データヘルス計画に基づいた委託保健事業の取組みの効果について
発表者：高橋　美智子

第 53 回予防医学技術研究会議
日　時：平成 31 年 2 月 7 日(木)～8 日(金)
会　場：茨城市

内　容：高校生時の血圧と成人後(10 年後)の血圧と肥満の関連について
発表者：幅岸　稚奈

内　容：採血業務における翼状針導入の取組みについて
発表者：宮口　優香

内　容：マルチプレックス PCR の導入による健常者糞便からのベロ毒素産生性大腸菌(VTEC)の検出状況について
発表者：金地　綾子

内　容：食品事業者様への HACCP 普及推進体制の構築
発表者：川口　純一

内　容：データヘルス計画に基づいた委託保健事業取り組みの効果について
発表者：谷内　愛実

内　容：検診車両の安全な運行について
発表者：紙尾　太郎

１０　会議・研修実施状況

◇ 各種学会関係

第 118 回日本外科学会定期学術集会
4 月 6 日～7 日　東京

日本医学放射線学会総会
4 月 13 日～14 日　横浜市

第 115 回日本内科学会総会
4 月 13 日～15 日　京都市

2018 国際医用画像総合展
4 月 14 日～15 日　横浜市

第 39 回マンモグラフィ読影講習会
4 月 20 日～21 日　名古屋市

分析化学会受託分析研究懇談会運営委員会
4 月 26 日　東京

第 58 回日本呼吸器学会学術講演会
4 月 27 日　大阪市

XN シリーズ　メンテナンストレーニング
5 月 9 日～11 日　神戸市

第 26 回日本乳癌学会学術集会
5 月 16 日～18 日　京都市

第 91 回日本産業衛生学会
5 月 16 日～19 日　熊本市

第 61 回日本糖尿病学会年次学術集会
5 月 25 日～26 日　東京

ISO/IEC 17025:2017 規格改訂説明会
5 月 30 日　大阪市

第 59 回日本臨床細胞学会総会(春季大会)
6 月 1 日～3 日　札幌市

栃木県保健衛生事業団視察
6 月 4 日　宇都宮市

日本腎臓学会参加
6 月 8 日～10 日　新潟市

日本人間ドック学会定時社員総会
6 月 21 日　東京

第 61 回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会
6 月 23 日～24 日　東京

東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究(NEWS)
ﾘｻｰﾁ･ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ(RC)会議
6 月 28 日　東京

第 25 回日本産業精神保健学会
6 月 30 日　東京

第 147 回マンモグラフィ更新講習会
7 月 7 日～8 日　京都市

岐阜女子大学講義の非常勤講師派遣

7月11日～13日　　岐阜市

「AMED佐川班運営委員会 ・全国連絡会議」および研究打ち合わせ

7月21日～22日　　仙台市

東海北陸支部放射線研修委員会運営委員会

8月5日　　四日市市

ISO22000食品安全マネジメントシステム審査員トレーニングコース

8月6日～10日　　東京

東京都予防医学協会障害者雇用視察･JKA補助申請説明会

8月8日～9日　　東京

腹部超音波検査研修会(中級コース)

9月28日～29日　　東京

第59回日本人間ドック学会学術大会

8月29日～31日　　新潟市

人間ドック学会 第49回認定医専門医研修会

8月31日～9月1日　　新潟市

第65回日本栄養改善学会学術総会

9月3日～5日　　新潟市

認定管理検査技師コース講習会「医療経営に対する戦略･戦術～地域包括ケアシステムにおける臨床検査技師の役割と仕事～」

9月8日～9日　　東京

第15回日本乳癌学会中部地方会

9月8日～9日　　津市

日本消化器内視鏡学会第44回重点卒後セミナー

9月9日　　東京

第28回日本産業衛生学会全国協議会

9月14日～16日　　東京

第152回マンモグラフィ技術更新講習会

9月28日～29日　　名古屋市

日本臨床検査自動化学会第50回大会

10月11日～12日　　神戸市

食品安全マネジメントシステム(ISO22000)審査員/主任審査員トレーニングコース

10月18日～24日　　大阪市

第77回日本公衆衛生学会総会

10月24日～25日　　郡山市

第26回日本消化器関連学会週間(JDDW)

11月1日～4日　　神戸市

第81回日本消化器内視鏡技師学会

11月2日～3日　　京都市

第5回受託分析研究懇談会総会及び第6回セミナー 次代に繋がる遺伝子技術

11月8日～9日　　東京

第12回日本禁煙学会学術総会

11月9日～10日　　高松市

第57回日本臨床細胞学会秋期大会

11月17日～18日　　横浜市

第28回日本乳癌検診学会学術総会

11月23日～24日　　大阪市

第59回日本肺癌学会学術集会

11月30日～12月1日　　東京

第48回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会

12月1日　　岐阜市

東海北陸支部放射線研修委員会運営委員会

12月1日　　岐阜市

日本産業衛生学会第52回中小企業安全衛生研究会全国集会

12月8日　　東京

第2回「AMED」佐川班運営委員会

12月20日　　東京

産業医学専門講習会･東京会場

1月12日～14日　　東京

日本総合健診医学会第47回大会

1月31日～2月2日　　横浜市

「検査室の働き方改革」～臨床検査技師の価値～

2月2日　　東京

日本CT検診学会学術集会

2月8日～9日　　日立市

第156回マンモグラフィ技術更新講習会

2月15日～16日　　東京

農林水産庁消費･安全局食品安全政策課 カキのノロウイルス検査法の研修

2月21日　　東京

日臨技臨床検査精度管理調査総合報告会

3月2日　　東京

臨床検査精度管理調査報告会

3月8日　　東京

肺がんCT検診認定機構 第16回認定医師更新講習会

3月9日～10日　　大阪市

◇ 予防医学事業中央会関係

第 1 回保健指導委員会

4 月 28 日　東京

第 1 回全国運営会議

7 月 12 日～13 日　東京

第 1 回常任企画委員会及び打ち合わせ

7 月 26 日～28 日　東京

資材管理システム説明会

8 月 22 日～23 日　東京

第36回 全国情報統計研修会・第4回日立健診システムユーザー

情報交換会(ヘルゼア友の会)

8 月 29 日～31 日　東京

第 2 回企画委員会

10 月 24 日～25 日　新潟市

第 2 回全国運営会議

10 月 25 日～26 日　新潟市

第 2 回保健指導委員会

11 月 2 日　東京

予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議

11 月 28 日～29 日　津市

保健指導研修会

12 月 6 日～7 日　東京

第 53 回予防医学技術研究会議

2 月 6 日～8 日　水戸市

全国業務研修会

2 月 27 日～3 月 1 日　松江市

医師協議会

3 月 8 日～9 日　福井市

◇ 全国労働衛生団体連合会関係

第 1 回中部地方協議会定例会議

8 月 24 日～25 日　名古屋市

労働衛生サービス機能評価「施設認定実務責任者研修会」

8 月 26 日～27 日　東京

選別聴力検査研修会

9 月 21 日　東京

運営研究協議会

11 月 20 日～21 日　東京

中部地方協議会第 2 回定例会議

2 月 8 日～9 日　下呂市

胸部Ｘ線検査研修会

2 月 15 日～16 日　東京

健康診断実施機関として必要な各種特殊健康診断についての意義、法的根拠等を総合的に学習する研修会

2 月 18 日　東京

◇ 日本作業環境測定協会関係

第一種作業環境測定士 登録講習(特化物) 作業環境測定士実技基礎講習 C

5 月 7 日～9 日　大阪市

第 11 回作業環境測定精度管理フォローアップ講習会

6 月 11 日　大阪市

第一種作業環境測定士 登録講習(有機溶剤) 作業環境測定士実技基礎講習 C

6 月 18 日～20 日　大阪市

第 39 回作業環境測定研究発表会

11 月 15 日～16 日　富山市

北信越支部運営委員会

12 月 13 日～14 日　福井市

北信越支部技術研修会

3 月 7 日～8 日　新潟湯沢町

◇ 全国給水衛生検査協会関係

東海北陸支部総会及び研究会

5 月 24 日～25 日　福井市

東海北陸支部 20 条技術委員会(第 1 回)

8 月 28 日　名古屋市

JASIS2018 セミナー・新技術説明会及び飲料水検査技術研修会

9 月 6 日～7 日　千葉市

支部 34 条技術委員会 (第 1 回)

9 月 28 日　名古屋市

簡易専用水道検査外部精度管理調査

11 月 9 日　　名古屋市

水道水質検査技術研修会

11 月 27 日　　名古屋市

簡易専用水道認定検査員更新講習会

1 月 18 日　　東京

東海北陸支部役員会

2 月 22 日　　名古屋市

◇ 食品衛生指定検査機関関係

業務管理研修会

6 月 25 日　　名古屋市

理事会･総会

6 月 29 日　　東京

HACCP の考え方を取り入れた衛生管理(いわゆる基準 B)セミナー

7 月 2 日　　東京

総会 関西地区輸入食品登録検査機関懇談会

7 月 10 日～11 日　　大阪市

業務管理研修会

7 月 24 日　　東京

「食品衛生法の一部を改正する法律」に基づく政省令案の検討状況に関する説明会

12 月 4 日　　名古屋市

関西地区輸入食品登録検査機関懇談会研修会

2 月 15 日～16 日　　大阪市

業務管理研修会

2 月 21 日～22 日　　広島市

◇ 労働基準協会関係

小松労働基準協会健康診断団体会議

5 月 8 日　　小松市

奥能登地区労働基準協会健康診断事務連絡会

7 月 24 日　　能登町

◇ 石川県予防医学協会集検事業管理指導委員会関係

第 1 回 肺がん･結核部会

6 月 19 日　　金沢市

第 1 回 大腸がん部会

7 月 2 日　　金沢市

第 1 回 胃がん部会

7 月 18 日　　金沢市

第 1 回 乳がん部会

8 月 24 日　　金沢市

第 2 回 肺がん･結核部会

12 月 4 日　　金沢市

第 2 回 大腸がん部会

12 月 10 日　　金沢市

第 2 回 胃がん部会

12 月 12 日　　金沢市

第 2 回 乳がん部会

2 月 13 日　　金沢市

学校保健部会

2 月 28 日　　金沢市

子宮がん部会

3 月 4 日　　金沢市